

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年7月14日

富山市長
藤井 裕久 殿

提出者

住所 石川県金沢市西念3丁目1番9号
氏名 中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸株式会社
代表取締役 山口 直宏
電話番号 076-261-8111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸株式会社 富山事業所
事業場の所在地	富山県富山市黒崎439番地
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

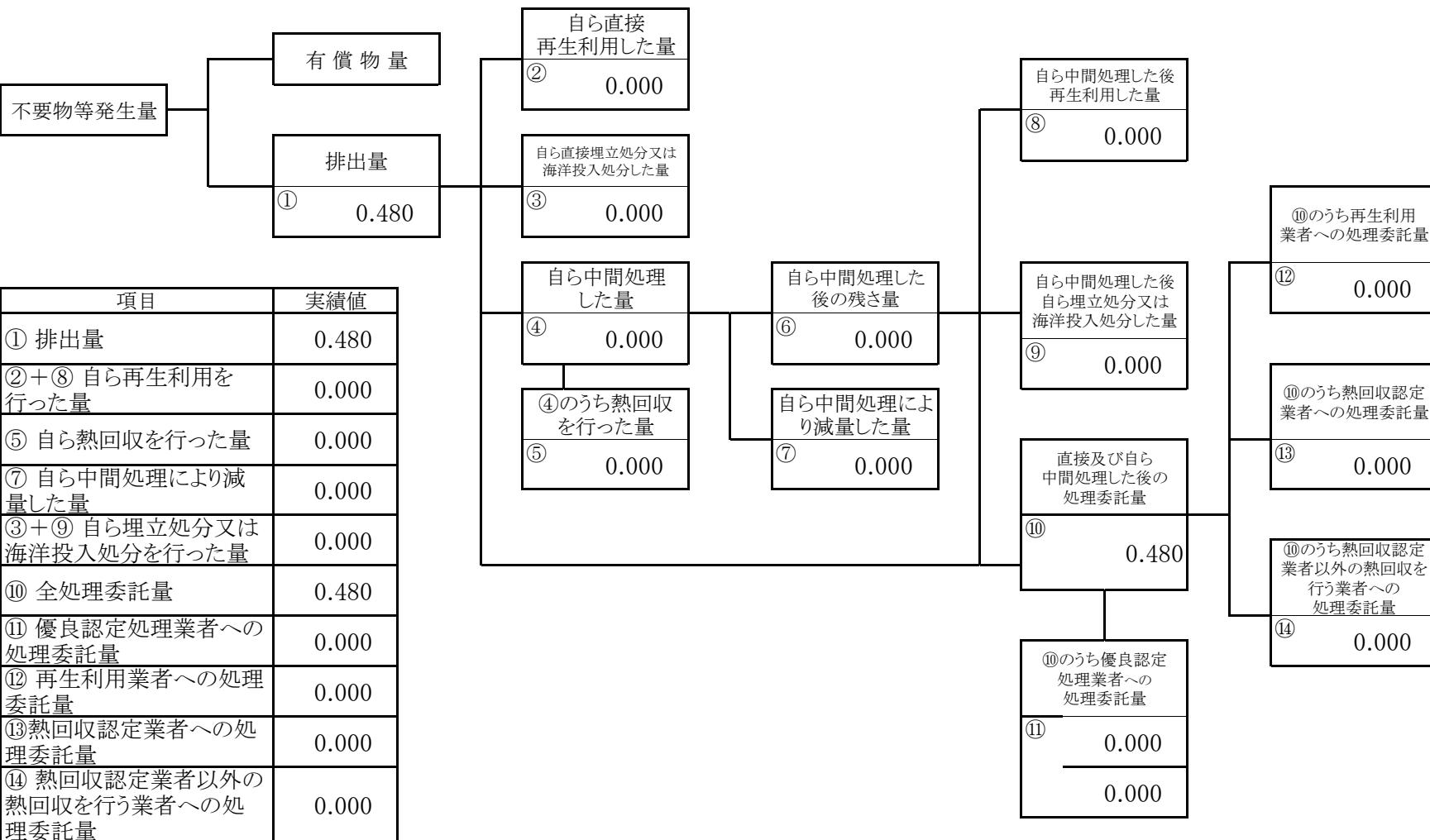
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,000 t	全処理委託量	1,000 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)

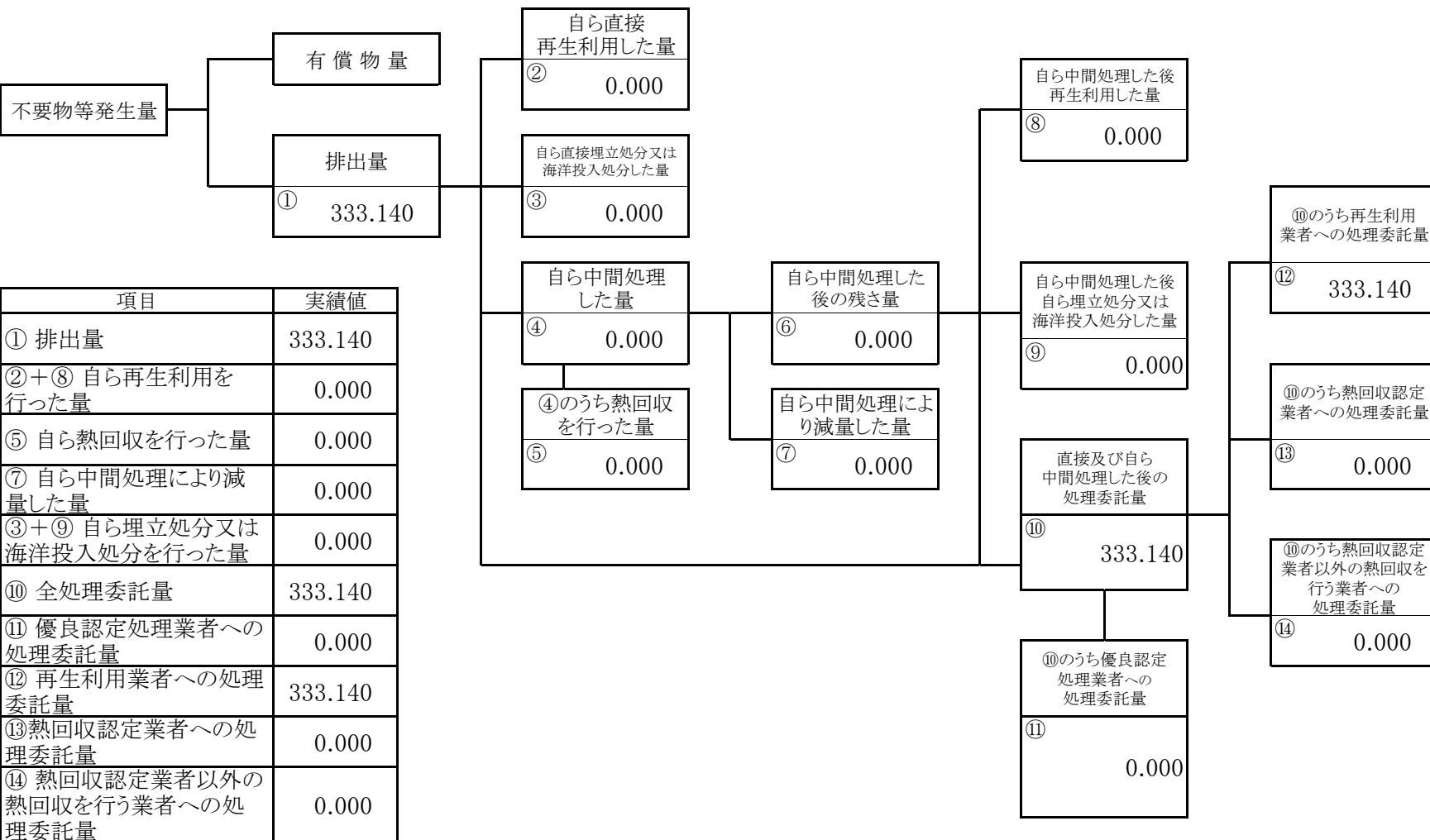


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

)

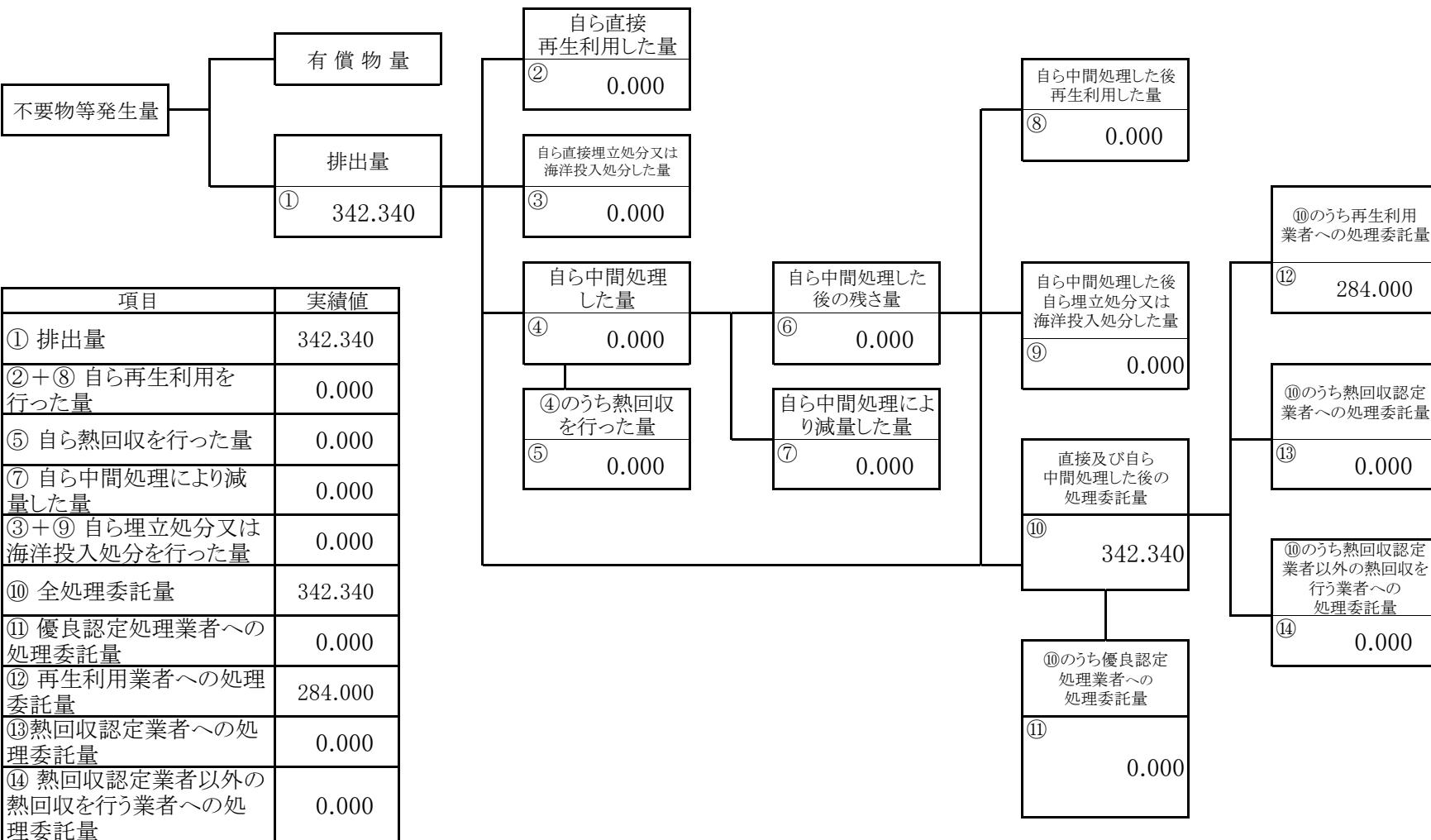


(第2面)

計画の実施状況

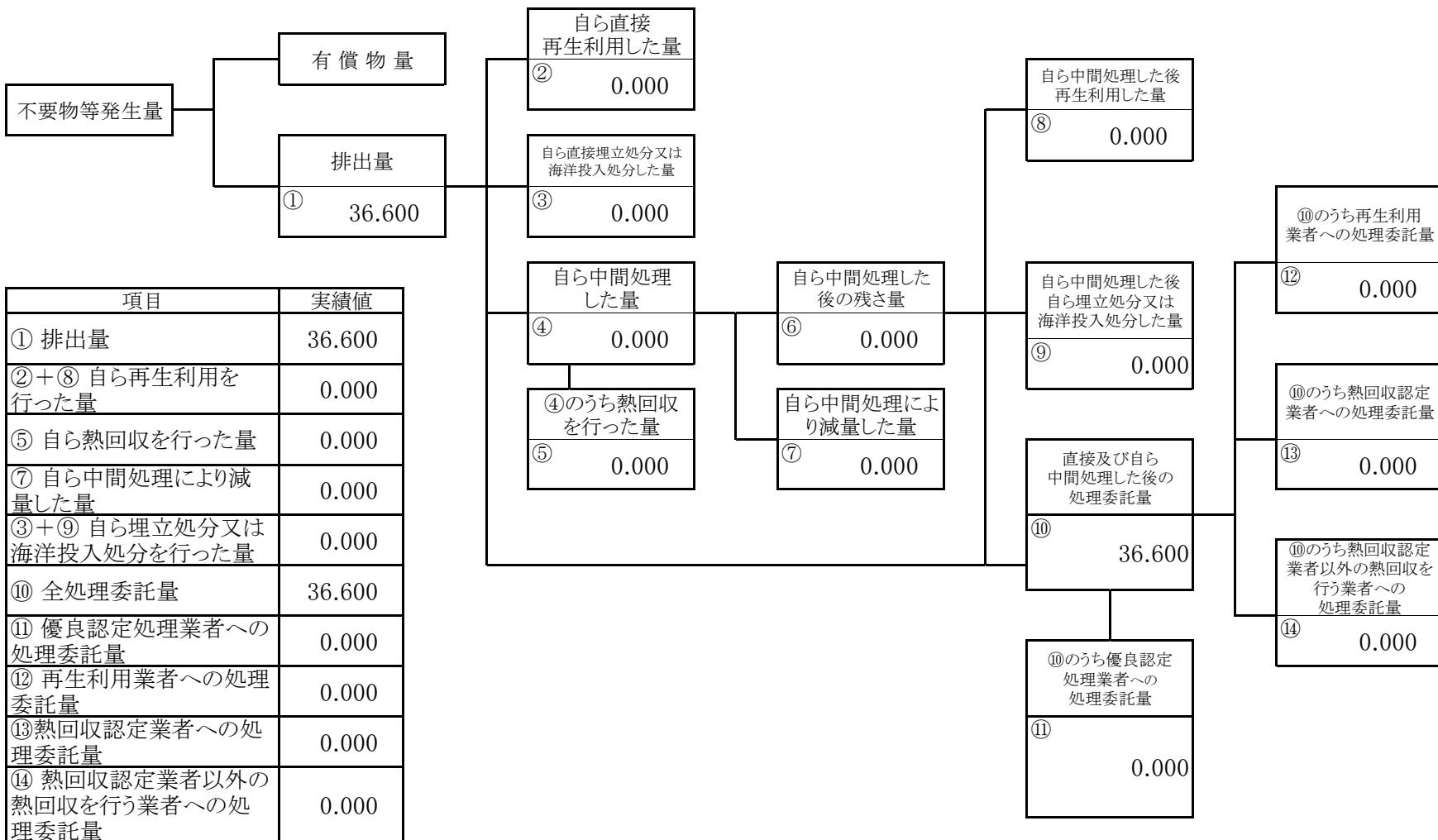
(産業廃棄物の種類： がれき類(アスファルト))

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類(コンクリート))

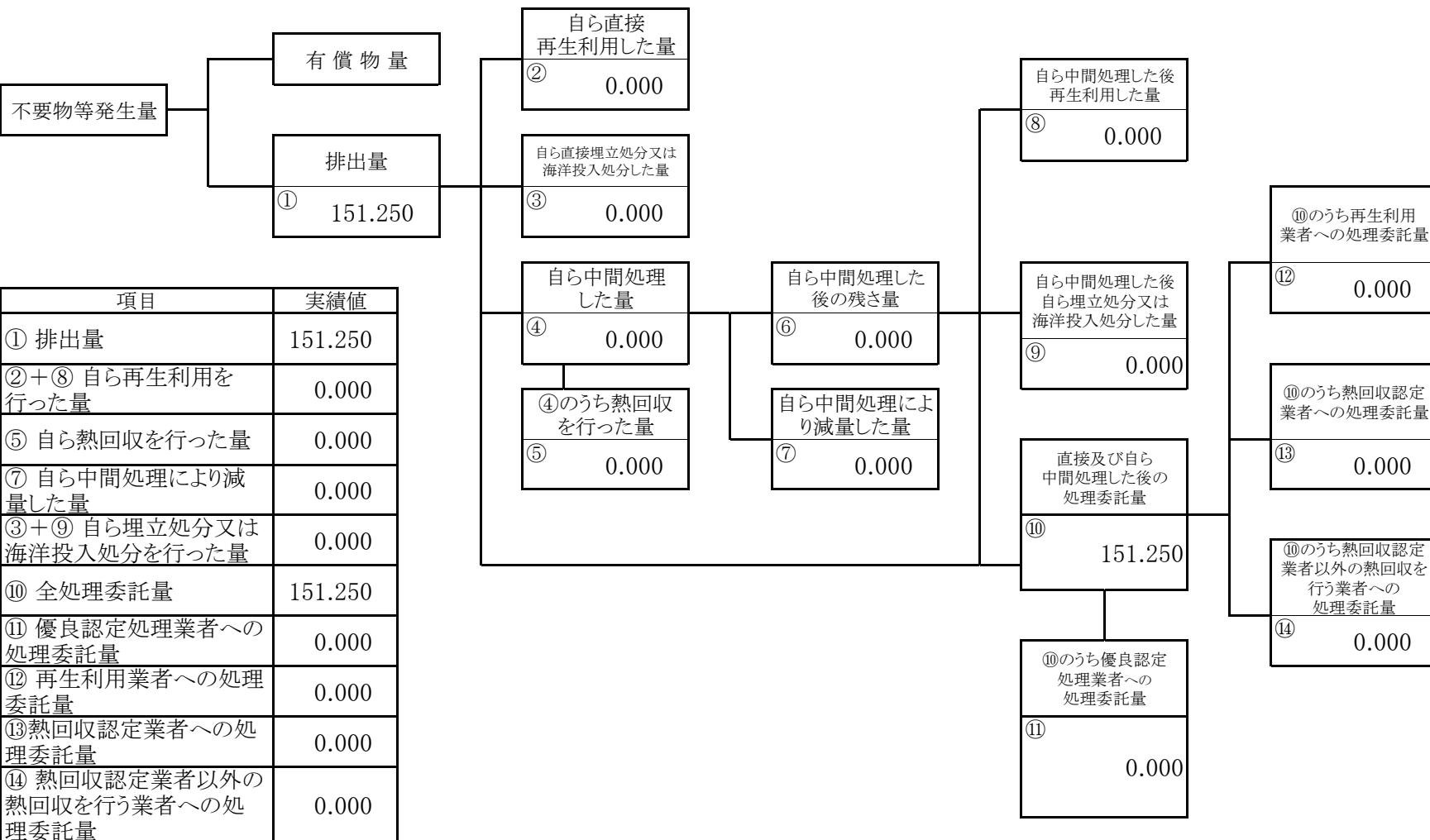


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず等

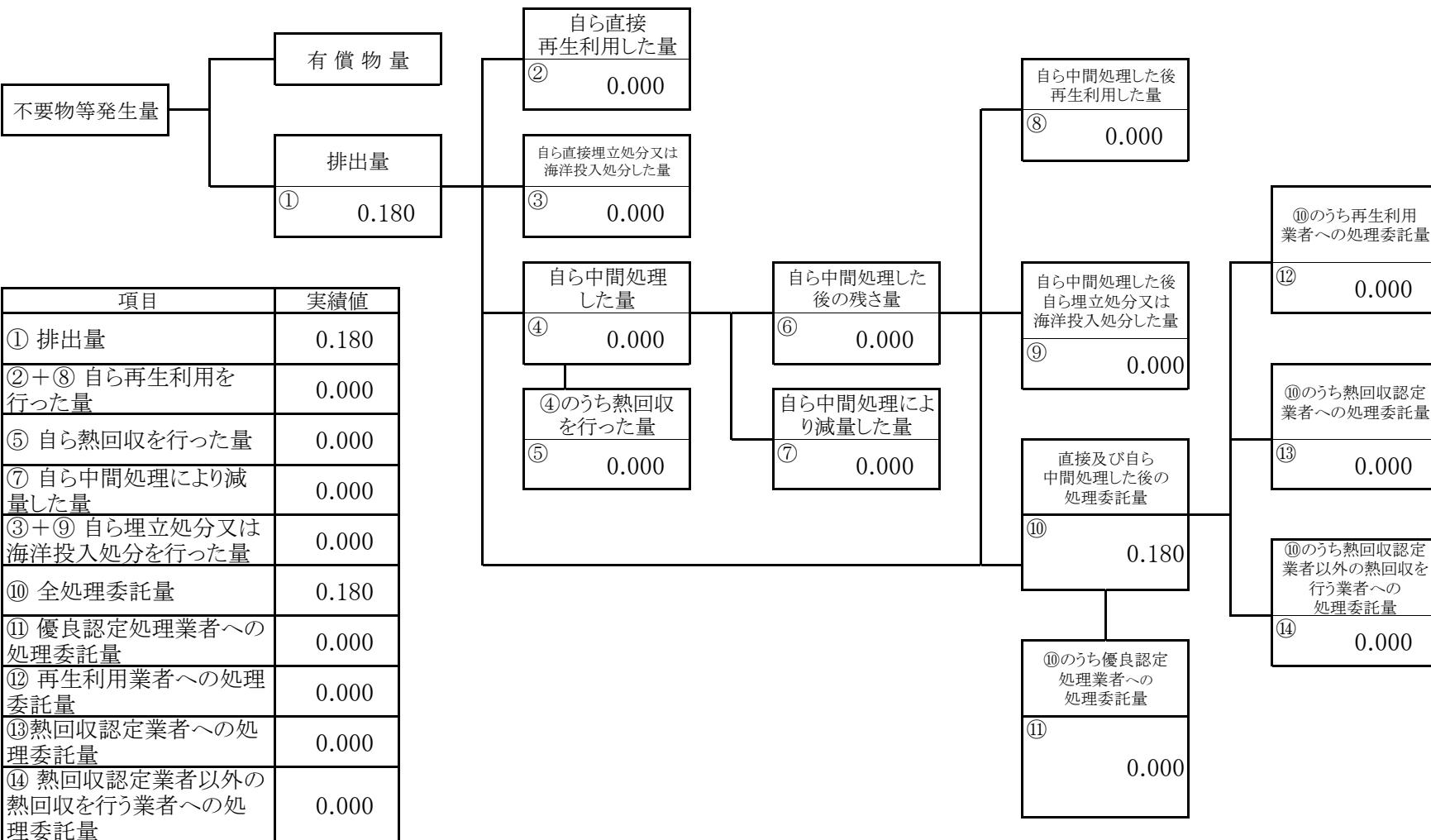
)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)

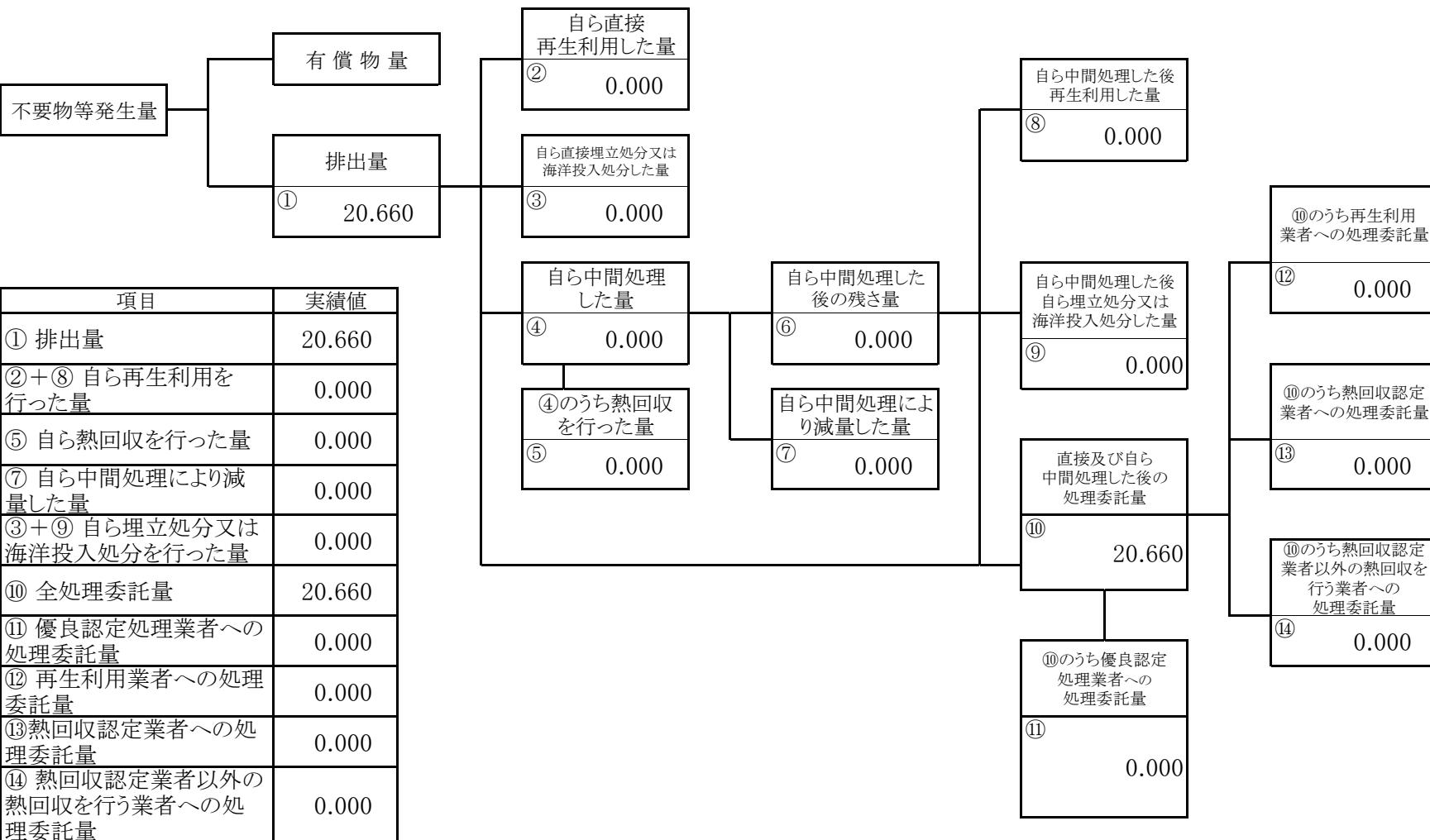


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

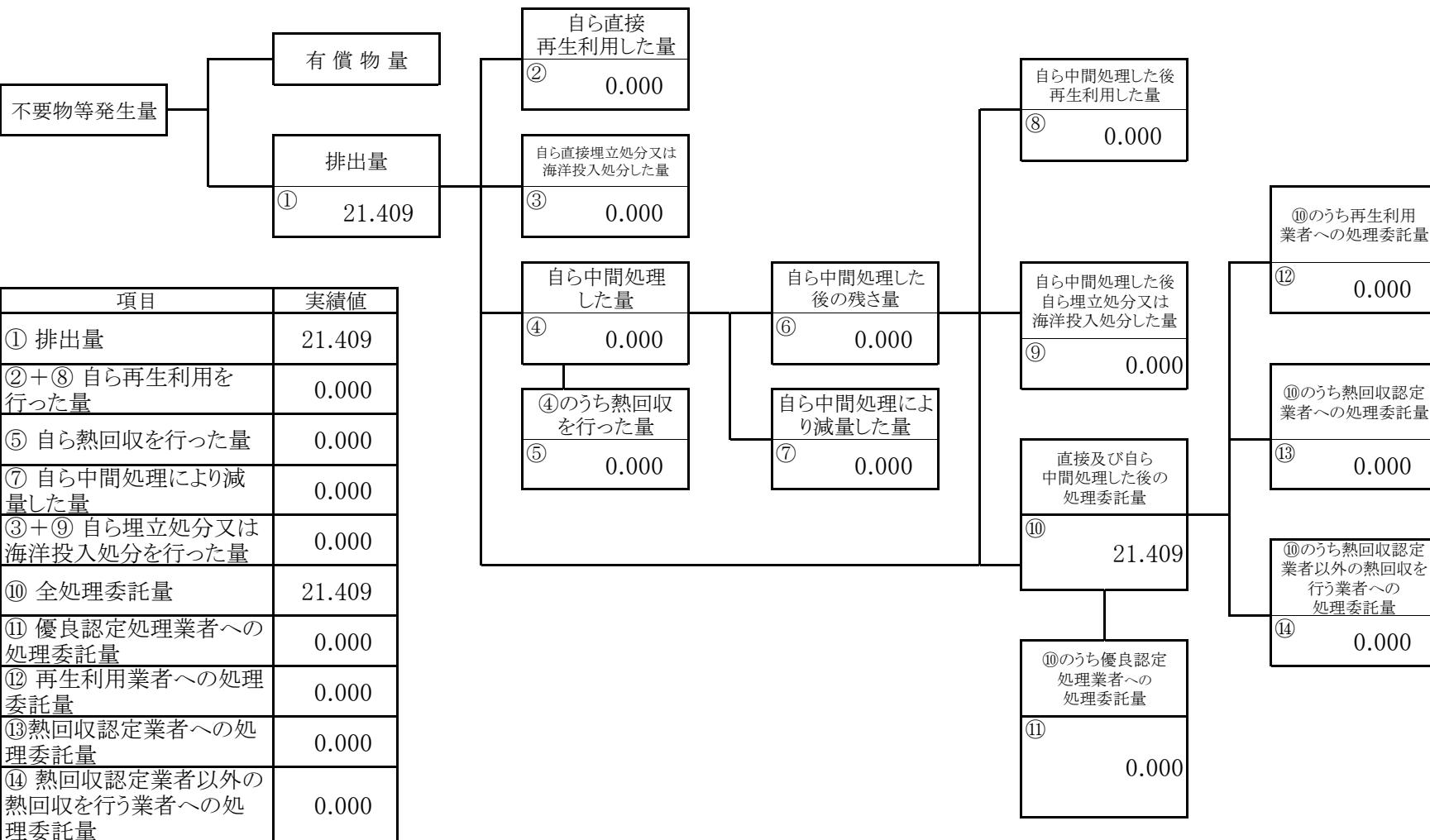
)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



(第2面)

(様式第2号の9)産業廃棄物処理計画実施状況報告書 第2面(一覧)

別添
単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況														
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理した後熱回収を行った量	⑥自ら中間処理により減量した量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
燃え殻		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
汚泥		20.660	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	20.660	0.000	0.000	0.000	0.000	
原油		0.180	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.180	0.000	0.000	0.000	0.000	
廃酸		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
廃アルカリ		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
廃プラスチック類		21.409	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	21.409	0.000	0.000	0.000	0.000	
紙くず		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
木くず		333.140	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	333.140	0.000	333.140	0.000	0.000	
繊維くず		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
動植物性残さ		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
動物系固形不要物		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
ゴムくず		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条		0.480	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.480	0.000	0.000	0.000	0.000	
カラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず		151.250	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	151.250	0.000	0.000	0.000	0.000	
鉱さい		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
がれき類(アスファルト)		342.340	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	342.340	0.000	284.000	0.000	0.000	
がれき類(コンクリート)		36.600	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	36.600	0.000	0.000	0.000	0.000	
動物のふん尿		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
動物の死体		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
ばいじん		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
計		906.059	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	906.059	0.000	617.140	0.000	0.000	

注1 産業廃棄物排出量の目標値： 様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況： 様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑯の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類： 19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

備考

- 市長 翌年度の6月30日までに提出すること。
藤井 裕久
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
- (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
津第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業
- (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
- (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
- (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
- (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
- (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
- (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
- (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
- (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
- (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
- (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令
第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
- (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
- (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律
第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
- (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への
焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理
計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。